

ユナイテッド・オーバーシーズ銀行(UOBH)

中国・アセアンのクロスボーダーおよび富裕層向けウエルスマネジメント業務が堅調。ネット專業銀行での海外展開加速
シンガポール | 銀行 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG UOB:SP | REUTERS UOBH.SI

- 2021/12期3Q(7-9月)は、総収益が前年同期比8.5%増、純利益が同56.5%増。純金利収益と純手数料収益の増収、与信費用減少が貢献。
- 中国とアセアンでの国境を跨ぐ貿易・投資拡大に伴うクロスボーダー収益および富裕層向けウエルスマネジメント業務収益が伸びた。
- タイやインドネシアでスマホ完結のネット專業銀行を展開し、預金残高や顧客数が拡大。ネット專業銀行を通じた海外展開が注目される。

What is the news?

11/3発表の2021/12期3Q(7-9月)は、総収益が前年同期比8.5%増の24.53億SGD、総費用が同6.2%増の10.72億SGD、不良債権処理に係る減損損失が同65.8%減の1.63億SGD、純利益が同56.6%増の10.46億SGD。純金利収益の増収に加え、個人のウエルスマネジメント部門の預かり資産残高が同6%増と伸びたことを受けた純手数料収益の増加が増収に寄与した。利益面では経費率が同0.9ポイント低下の43.7%と改善したこと、および与信環境の好転に伴う減損損失の減少が貢献した。前四半期比では、総収益が1.5%増、純利益が4.3%増と改善継続のほか、貸出の質に係る不良債権比率(NPL)の3Q末が横ばいの1.5%だった。

3Qの総収益内訳については以下の通り。①純金利収益は前年同期比8.8%増の16.04億SGD。貸出残高が同9.0%増と伸びたことに加え、純金利マージンが同0.02ポイント上昇改善の1.55%となったことが増収に寄与。②純手数料収益は同14.6%増の5.89億SGD。ウエルスマネジメント業務、ローン関連業務、クレジットカード業務、およびその他業務の全てが増収だった。③トレーディング・投資収益などのその他非金利収益は同4.8%減の2.59億SGD。

How do we view this?

2021年度通期会社計画は、貸出残高の伸びが前期比1桁台後半、非金利収益の伸びが同2桁台、信用コストが同0.25ポイント低下。貸出残高のほか、純手数料収益の9M(1-9月)が前年同期比24%、9月末の信用コストも前年末比0.35ポイント低下と計画に沿って順調に進捗中している。

中国とアセアンのクロスボーダーの貿易・投資拡大を受けて、同行のクロスボーダーの1-8月収益が前年同期比6%増となったほか、同行のホールセールバンキング収益の30%を占めるに至った。また、アジア富裕層が香港国家安全維持法の制定に伴って中国政府の影響が強まった香港からシンガポールに資産を移動させる動きが一部にみられるなか、同行のウエルスマネジメント業務の9M収益も前年同期比22%増と伸びた。

同行はタイやインドネシアで、スマホで取引完結するネット專業銀行を展開している。ネット專業銀行の6月末時点では、預金残高が前年同期比4倍に拡大、顧客数が前四半期末比14.5%増の35.5万人となるなど、オンライン銀行を通じた海外展開が成長を後押ししている模様だ。

業績推移

※参考レート 1SGD=82.91円

事業年度	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12F	2022/12F
売上高(百万SGD)	14,037	16,024	12,764	9,867	10,729
当期利益(百万SGD)	4,008	4,343	2,915	4,000	4,504
EPS(SGD)	2.33	2.54	1.68	2.37	2.66
PER(倍)	11.42	10.50	15.88	11.25	10.08
BPS(SGD)	21.31	21.31	21.31	21.31	21.31
PBR(倍)	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25
配当(SGD)	1.00	1.10	0.78	1.21	1.32
配当利回り(%)	3.76	4.14	2.93	4.55	4.96

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) **1.21** (予想はBloomberg)
終値(SGD) **26.60** 2021/12/6

会社概要

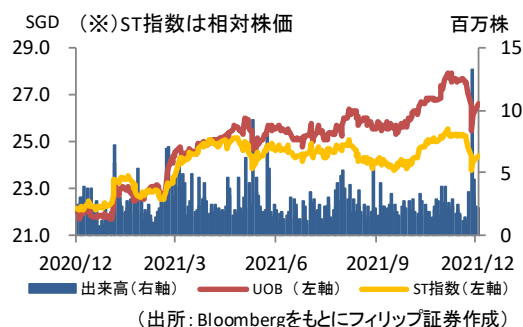
1935年設立のシンガポールに本社を置く銀行。当初は福建省のコミュニティ向け「ユナイテッド・チャイニーズ銀行」として設立されたが、買収などを通じて国際的な金融機関となり、現在はアジア太平洋地域、西ヨーロッパ、北米の19の国と地域に500カ所以上のオフィスを持つ。

東南アジアでのビジネス拡大を図る日系企業に対して、東南アジアにおけるクロスボーダーのビジネス支援にも注力している。

シンガポールでは、クレジットカード、民間住宅ローンのマーケットリーダーであり、中小企業向けローンにおいてもキープレーヤーである。資産運用を担うUOBアセットマネジメントは、シンガポールで最も高い地位を誇るのファンド会社の1つである。グループ傘下には、UOB(マレーシア)、UOB(タイ)、PTバンクUOB(インドネシア)、ブアナUOB(中国)等があり、東南アジア全域で活動を展開している。

企業データ(2021/12/7)

ベータ値	1.06
時価総額(百万SGD)	44,600
企業価値=EV(百万SGD)	-
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	64.7



主要株主(2021/12)

株主名	(%)
1.WEE INVESTMENTS PTE LTD	7.97
2.WAH HIN & CO PTE LTD	5.18
3.VANGUARD GROUP	2.73

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
+81 3 3666 6980
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>